教育目標「キラリ、桃里に輝く上保原っ子」

平成26年2月4日

桃

里

伊達市立上保原小学校長 亀岡和美

児童数 1年30名 2年35名 3年34名 4年41名 5年32名 6年55名 計227名

～ 暦の上ではもう春です ～

早いもので、カレンダーが2枚目になりました。今日4日は立春。暦の上ではもう春ですね。とはいえ、まだまだ寒い日が続いています。

1月23日(木)には授業参観・懇談会を実施しました。多数の保護者の皆様にご出席いただきありがとうございます。今までの学習・生活の様子や今後は1年間のまとめをしていくこと、来年度のPTA学年役員決め等について話し合われました。

2月3日は節分でした。もともとは、四季の分かれ目に行われていたもので、1年間に4回の節分がありました。立春前日の節分のみが年中行事の一つとして残っています。その理由は、立春が正月であったことで年の変わり目に当たっていたこと、「鬼やらい」など他の節分にはない行事があったこと等のようです。

本校でも、各クラスで「豆まき」を行いました。「退治したい鬼は？」との質問に、子ども達は「なまけ鬼」「さぼり鬼」「やりたくない鬼」「ねぼすけ鬼」等と答えていました。大きな声で「鬼は外、福は内」と言いながら鬼を退治しました。自分の心の中にいる鬼に負けないよう様々なことに取り組んでほしいと願っています。

よく「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われています。年度末が一番忙しい時期で、あっという間に過ぎ去ってしまうことを表しているのだと思います。一日一日を大切に、年度末を迎えられるよう指導・支援していきます。

～ インフルエンザに注意！！ ～

1月中旬からインフルエンザの罹患者が発生し始め、本校にもじわりとその波がやってきました。全国的にも今年は大流行しています。今のところ、特定の学年に限定されていますが、兄弟姉妹関係などで罹患者が拡大するおそれもあります。また、種類もA型、B型のどちらも発生しています。「保健だより」等で現在の欠席者数やインフルエンザ拡大防止の留意点などについて記載しお知らせしています。必ず目を通し、家族全員で共通理解されるようお願いいたします。また、罹患者が増えたり拡大するおそれがある場合には、「休校」「学級閉鎖」等の緊急措置を実施する場合があります。下校時刻等、急に変更する場合には、安心メールや緊急連絡網でご連絡いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

～ 2月が最終振替です ～

学校徴収金については、2月が最終振替(年間10回)となっています。これまでも、口座の振替について再三お願いをしてきましたが、まだ残金不足のため、振替不能のご家庭があります。まもなく、年度終了となります。給食費や教材費等、年度内の支払いができない場合がありますので、残高を確認し、入金を忘れないようお願いいたします。

～ インターネット機器とどう付き合うか ～

先日、伊達警察署管内学校警察連絡協議会第3学期定例会が開催されました。そのなかで、福島県教育センターの先生から「ラインなどに関わるトラブルの現状と保護者との連携・協力の事例」について講話がありました。

本校でも、ケータイ(メール)やインターネットゲーム等でのトラブルが発生しています。自分専用の携帯電話やゲーム機・音楽プレイヤーをもち、自分の部屋で好きなように使用していませんか。ご家庭での約束はありますか。

当日の講話について、主な内容を記載します。まずは私たち大人がインターネット機器について知ることが大切です。

1 現実に発生している事例

① SNSにアップした個人情報や画像、不適切な言動、犯罪につながる
② LINEで知り合った人とのトラブル、犯罪が起きている

2 子どものネット課題として

① 人間関係のトラブル(ネットいじめ、LINEはずし等)
② 情報発信トラブル
(SNS等への不適切な投稿・・・犯罪行為につながる、個人情報漏洩等)
③ 健康課題(依存症、睡眠不足)
④ 情報セキュリティ(著作権、歩きスマホ問題)
⑤ 経済的課題(スタンプやゲームの課金)

3 今後考えていくべきこと、指導していくべきこと

① 家庭でのルールづくりが基本、学校の方針も伝える
② ルール作りのポイント
(スマホだけでなく、音楽プレイヤーやゲーム機でも同様)
ア ネット機器の目的や購入動機
友だちがもってるからやプレゼント(ご褒美)ではなく、何のために購入するのかを親が伝える。子どもに理解させる。
イ 利用の仕方(使う時間、場所、使い方、健康面への配慮)
ウ 利用の内容(メールやウェブサイトへの対応)
エ 利用のマナーやルール
○ 事実無根、誹謗中傷等の書き込み
○ 友だちに流されない
○ 判断ができ責任がとれる大人になるまでSNSは利用しない・させない
○ 大切な話は相手と直接会って話す(ネットとの適度な距離)
オ 利用制限をかける(フィルタリングや料金制限)

最後に「(親力)チェックシート」をしました。下記に記載します。知っていますか?チェックしてみてください。

記

- ① ゲーム機や音楽プレイヤーからもインターネットにつながってどんなことができるのか知っている。
- ② “Wi-Fi(ワイファイ)”がどんなものか知っている。
- ③ “ペアレンタルコントロール”がどのようなものか知っている。
- ④ ケータイとスマホの違いについて説明できる。
- ⑤ “すれちがい通信”がどのようなものか知っている。
- ⑥ 無料ゲームサイトで、ゲーム以外に何ができるかを知っている。
- ⑦ “LINE(ライン)”というアプリで、子どもの間でどんなトラブルがおきる可能性があるのか知っている。
- ⑧ 「JS6」「JC2」「わらわやうせ」などの“隠語”の意味が分かる。
- ⑨ “ネトゲ廃人”がどのようなものか知っている。
- ⑩ ネットの“魚拓”が恐ろしい事態を招くことを知っている。

23日の授業参観日には、6年生の児童・保護者向けに、携帯電話会社の方を講師に招いた「ケータイ教室」を実施しました。その中でも、家庭でのルールづくりの必要性について話がありました。インターネット機器(携帯等)について親としての考えを子どもに話す機会を設け、ルールについて話し合ってください。